

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

| |
|--|
| <p>＜研究課題名＞</p> <p>びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における初回外来化学療法の治療成績および時間毒性の評価</p> |
| <p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科 三浦 勝浩</p> |
| <p>＜研究期間＞</p> <p>機関の長の初回許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日</p> |
| <p>＜対象となる方＞</p> <p>2016 年 1 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日までにびまん性大型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）と診断され、入院または外来（腫瘍センター）にて初回治療としてリツキシマブ・シクロフォスファミド・ビンクリスチン・プレドニゾン（R-CHOP）療法が開始された 18 歳以上の方</p> |
| <p>＜研究の目的＞</p> <p>近年がん化学療法の治療成績が向上している一方で、入院や通院のため要する患者さんの時間的負担は「時間毒性」と呼ばれ、改善すべき問題として注目されています。しかし日本国内でこのような患者さんの時間的負担（時間毒性）が成人びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんにおいてどのように治療成績に影響しているかが分かっていないため、本研究はそのような課題を明らかにすることを目的としています。</p> |
| <p>＜研究の方法＞</p> <p>本研究は成人 DLBCL 患者さんを対象に実際の診療記録に基づき R-CHOP 療法に関して入院や通院のための時間をどれだけ要したかを評価します。さらに R-CHOP を外来で開始した患者さんと入院で開始した患者さんにおいて、時間毒性や治療成績にどのような影響があったかを検証します。</p> |
| <p>＜研究に用いる試料・情報の項目＞</p> <p>電子カルテより年齢・性別・検査値・抗がん剤の減量率・治療効果・副作用等を収集します。なお、公開後の場合は、同意を撤回された場合でも公開データからの削除対応ができなくなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 血液・腫瘍内科 三浦 勝浩 電話：03-3972-8111 内線：2403</p> |

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方